

指定管理者評価シート

事業名	公立保育所等運営費	所管課(電話番号)	子ども未来局子育て支援部施設運営課(211-2986)
-----	-----------	-----------	-----------------------------

I 基本情報

1 施設の概要			
名称	札幌市大通保育園	所在地	札幌市中央区大通東4丁目5-1
開設時期	昭和62年1月	延床面積	612.28㎡
目的	児童福祉法(昭和22年法律第164号)39条の規定に基づく保育所として、保護者の労働、疾病その他の事由により、その監護すべき児童について保育を必要とする場合、当該児童を保育すること。		
事業概要	保育事業		
主要施設	保育室、乳児室、遊戯室、事務室、調理室		
2 指定管理者			
名称	社会福祉法人 ろうふく会		
指定期間	平成30年4月1日～令和5年3月31日		
募集方法	非公募 非公募の場合、その理由:施設利用者との継続的な信頼関係が求められるため、非公募としたも		
指定単位	施設数:1施設 複数施設を一括指定の場合、その理由:		
業務の範囲	施設の維持及び管理。保育の実施及び保育の実施に付随する業務。		
3 評価単位			
	施設数:1施設 複数施設を一括評価の場合、その理由:		

II 令和2年度管理業務等の検証

項目	実施状況	指定管理者の自己評価	所管局の評価
1 業務の要求水準達成度			
(1)統括管理業務	<p>▽ 管理運営に係る基本方針の策定</p> <p>札幌市の公の施設であることを念頭に公平な利用、サービスの提供、維持、また向上に努めている。</p> <p>▽ 平等利用に係る方針等の策定と取組実績</p> <p>利用者や地域住民の声を常に把握し、時間外保育、一時保育などの特別保育を行い、利用者のニーズに応え、地域社会に貢献していく。</p> <p>▽ 地球温暖化対策及び環境配慮の推進</p> <p>電気、ガス、水道の使用については、使用料を前年度と比較しながら、削減に努めている。また、職員間でも周知している。</p>	利用者に対して、公示しているサービスを変わず提供できている。コロナ感染対策により、例年と違う対応が多くなったが、子どもの安全を第1に考えながら、施設の安全確保に努めた。保護者の協力も多くいただけた中で、感染予防をしながら運営することができた。	A B C D 市の指導を受けることなく、適切に管理されている。

▽ 管理運営組織の確立(責任者の配置、組織整備、従事者の確保・配置、人材育成)

職員の配置は、仕様書の通りに配置できている。今後も状況に応じて、採用を行っていく。
研修はコロナ禍で積極的に参加できなかったため、職員間でのミーティングを中心に共通理解を促した。

▽ 管理水準の維持向上に向けた取組

登園の状況、夜間の利用状況等常に見極め、防犯に必要な設備を整えたり、職員の配置状況などを考慮している。

▽ 第三者に対する委託業務等の管理(業務の適正確保、受託者への適切監督、履行確認)

前年度から引き続き業務を委託している場合が多いが、都度、内容を比較しながら、適正かどうかの判断をしている。

▽ 札幌市及び関係機関との連絡調整(運営協議会等の開催)

開催回	協議・報告内容
第1回	電話での確認 修繕について 本部からの申し入れ等の確認を行い、園長と運営係担当者で電話での協議を行う
<協議会メンバー> 未来局運営係担当者、法人事務局長、園長	

札幌市との対面での協議はできず、電話での対応となった。今後も、このような事態が予想されるので、電話での連絡等を積極的に行っていく。

▽ 財務(資金管理、現金の適正管理)

資金管理については、公認会計士による外部監査を導入している。

外部監査人による監査を行い、適正に対応した。

▽ 要望・苦情対応

苦情処理規定を作成し、職員及び利用者に周知している。苦情申出はなかったが、その都度申出人に回答するとともに、意見の有無を園だよりで公表している。

苦情受付、アンケート等を行い、意見等があれば、迅速に対応できた。

▽ 記録・モニタリング・報告・評価(記録、セルフモニタリングの実施、事業報告、札幌市の検査等への対応、自己評価の実施)

すぐに対応し、できない場合は、その理由とともに回答した。

<p>(2)労働関係法令遵守、雇用環境維持向上</p>	<p>▽ 労働関係法令遵守、雇用環境維持向上</p> <p>労働者に、最低賃金以上の861円の時給を支給した。施設で働く職員に対し、時間外労働・休日労働及び深夜業をさせた場合、それぞれ法定割合以上の割増賃金を支払った。7月に就業規則の改正を行い、労働基準監督署に届け出た。施設で働く職員は、1週40時間、1日8時間を順守した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設で働く職員に、時間外労働又は休日労働させる場合は、書面による労使協定(36協定)により必要な定めをし、労働基準監督署に届け出た。 ・全ての労働者を労災保険に、条件を満たす労働者を雇用保険に加入させた。 ・労働者の勤務形態、家族状況等に応じて年金保険、医療保険に適切に加入させた。また、必要に応じて適切に届け出等を行った。 ・雇入れ時に、健康診断を実施した。 ・1年に1回定期健康診断を実施した。深夜業に従事する労働者には、6か月に1回の定期健康診断を実施した。 ・労働基準監督署からの行政指導を受けなかった。指定管理者の申込時に提出した、ワーク・ライフ・バランスの取組に関して適切に実施した。 ・指定管理者の申込時に提出した、ワーク・ライフ・バランスの取組に新たな取組みを加えて適切に実施した。 	<p>法令に則り適正に対応した。</p>	<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td colspan="4">市の指導を受けることなく、適切に管理されている。</td> </tr> </table>	A	B	C	D	市の指導を受けることなく、適切に管理されている。			
A	B	C	D								
市の指導を受けることなく、適切に管理されている。											
<p>(3)施設・設備等の維持管理業務</p>	<p>▽ 総括的事項(利用者の安全確保、市民サービス向上への配慮、連絡体制確保、保険加入)</p> <p>利用者に必要な保険に加入し保障している。安全管理マニュアルを作成し、利用者および職員の安全を保障し、迅速な対応ができる様、職員に周知している。</p> <p>▽ 施設・設備等の維持管理(清掃、警備、保守点検、修繕、備品管理、駐車場管理、緑地管理等)</p> <p>夜間警備、保守点検、消防設備点検等統括して業務委託しており、定期点検を行い、管理している。修繕は、緊急性のある場合、保守的な修繕かの判断をし、適切に行っている。</p> <p>▽ 防災</p> <p>防災計画を作成し、月1回の避難訓練を行い、内、年2回の総合訓練を実施している。</p>	<p>適正に対応できている。</p> <p>防災に関する管理は統括して行うことで、修繕箇所などすぐに修繕することができた。避難訓練に関しては、消防署員の指導は直接受けることはできなかったが、防災管理者のもと、計画通り実施できた。</p>	<table border="1"> <tr> <td>A</td> <td>B</td> <td>C</td> <td>D</td> </tr> <tr> <td colspan="4">市の指導を受けることなく、適切に管理されている。</td> </tr> </table>	A	B	C	D	市の指導を受けることなく、適切に管理されている。			
A	B	C	D								
市の指導を受けることなく、適切に管理されている。											

<p>(4)事業の計画・実施業務</p>	<p>▽ 保育実施状況</p> <p>▼ 保育時間 7:00~0:00</p> <p>▼ 児童数(該当年度3月1日児童数)※()内は夜間</p> <table border="1" data-bbox="384 282 979 544"> <thead> <tr> <th></th> <th>定員</th> <th>R1実績</th> <th>R2実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0歳児</td> <td></td> <td>7(1)人</td> <td>7(1)人</td> </tr> <tr> <td>1~2歳児</td> <td></td> <td>19(5)人</td> <td>21(3)人</td> </tr> <tr> <td>3歳児</td> <td></td> <td>11(2)人</td> <td>9(3)人</td> </tr> <tr> <td>4~5歳児</td> <td></td> <td>21(5)人</td> <td>22(2)人</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>60(30)人</td> <td>58(13)人</td> <td>59(9)人</td> </tr> </tbody> </table> <p>▼ 職員数</p> <p>園長1名、主任保育士1名、保育士13名、パート保育士1名、栄養士1名、調理員1名、パート調理員2名、育児休暇保育士1名 計21名</p> <p>▼ 行事の実施</p> <p>コロナウイルス感染防止対策により、都度、行事内容を協議し、参加する年齢、時間等を考慮し、また、保護者参加についても人数制限を行うなどした。できるだけ、中止という選択ではなく、縮小という形で実施をした。</p> <p>▼ 健康診断の実施</p> <p>年1回の健康診断、夜間従事者は年2回の検診を行った。また、新規採用者は、採用前に雇用時健診を受診した。</p>		定員	R1実績	R2実績	0歳児		7(1)人	7(1)人	1~2歳児		19(5)人	21(3)人	3歳児		11(2)人	9(3)人	4~5歳児		21(5)人	22(2)人	計	60(30)人	58(13)人	59(9)人	<p>コロナにより、退職になったことでの退園や、育児休暇の延長などがあり、入所がキャンセルになったりしたが、最終的には、例年と変わらない入所人数となった。</p> <p>必要人数以上の保育士を確保できている。</p> <p>コロナ禍でもできることを考え、子ども自身の経験としては、普段と変わらず行うことができた。</p> <p>法令に則り行っている。</p>	<p>A B C D</p> <p>法令を遵守しながら、事業計画に基づき保育事業を実施している。また、行事の開催については、感染症対策の観点から十分な検討を行っている。</p>
	定員	R1実績	R2実績																								
0歳児		7(1)人	7(1)人																								
1~2歳児		19(5)人	21(3)人																								
3歳児		11(2)人	9(3)人																								
4~5歳児		21(5)人	22(2)人																								
計	60(30)人	58(13)人	59(9)人																								
<p>(5)施設利用に関する業務</p>	<p>▽ 保育に付随する業務の実施状況</p> <table border="1" data-bbox="384 1128 979 1301"> <thead> <tr> <th>種別(内容)</th> <th>R1実績</th> <th>R2実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>延長保育(通常分~1時間延長)</td> <td>101人</td> <td>161人</td> </tr> <tr> <td>延長保育(夜間保育~2時間延長)</td> <td>91人</td> <td>81人</td> </tr> <tr> <td>一時保育(8時~18時)</td> <td>18人</td> <td>3人</td> </tr> </tbody> </table> <p>※ 実績は該当年度延べ利用児童数</p>	種別(内容)	R1実績	R2実績	延長保育(通常分~1時間延長)	101人	161人	延長保育(夜間保育~2時間延長)	91人	81人	一時保育(8時~18時)	18人	3人	<p>緊急事態宣言などの影響を受け、一時保育は利用者が減少したが、時間外保育は、例年通り実施した。</p>	<p>A B C D</p> <p>札幌市の施策である時間外・夜間保育事業等の実施に努めている。</p>												
種別(内容)	R1実績	R2実績																									
延長保育(通常分~1時間延長)	101人	161人																									
延長保育(夜間保育~2時間延長)	91人	81人																									
一時保育(8時~18時)	18人	3人																									
<p>(6)付随業務</p>	<p>▽ 広報業務</p> <p>法人、また、当園のHPを作成し、告知している。</p> <p>▽ 引継ぎ業務</p> <p>前回からの継続指定のため、引継ぎ業務なし。</p>	<p>HPの更新を行い告知できた。</p>	<p>A B C D</p> <p>市の指導を受けることなく、適切に管理されている。</p>																								

2 自主事業その他			A	B	C	D
▽ 自主事業 該当なし ▽ 市内企業等の活用、福祉施策への配慮等 給食材料、保育材料など、廃品回収等、札幌の業者に委託している。		積極的に札幌市内の業者を利用できた。				市の指導を受けることなく、適切に管理されている。
3 利用者の満足度			A	B	C	D
▽ 利用者アンケートの結果						
実施方法	書面によるアンケート	利用者アンケート結果を踏まえ、改善できる点は早急に対応することができた。対応が難しい点においても理解を得たうえで、別な対応策を考えていく。	満足度は高い評価を得られている。また、利用者からの意見・要望について適切に対応しており、利用者との良い信頼関係を築いていることが見受けられる。			
結果概要	①とても良い②良い③普通④あまり良くない⑤良くない 1. 施設利用①52%②43%③5% 2. 施設整備、管理①38%②38%③19%④5% 3. 行事①33%②43%③14%④10% 4. 食事①24%②62%③14% 5. 職員対応①67%②28%③5% 6. 保育サービス①62%②38%					
利用者からの意見・要望とその対応	<ul style="list-style-type: none"> ・保育にかかる給食費や延長保育料を振込にしてほしい →給食費は定額だが、時間外保育料は1000円未満のご家庭も多く、手数料等を考慮すると現段階では難しい ・水道がお水しかでないの、真冬に手を洗う時、お湯が出てくれたら良い。 →手洗いの重要性が高まってきているので、今後検討していく。 ・保湿クリームを塗ってくれるとありがたい。 →医師からの指導があれば預かる。市販の薬は、体調によって合わなくなったりする場合もあるので、基本は預かれない。緊急の対応としてできる場合もあるので、相談してほしい。 ・1について 衛生面などが気になる。建物、水回り、玄関周辺いろいろと気になってしまう。子どもを預ける面で清潔であってほしい。 2について 園に入ったときのおいが気になる。建物も地震などに対して耐震などされているかがとても心配(全体の設備の古さなど) →当園は札幌市指定管理施設のため、建物土地の所有は札幌市となっております。そのため、施設内の修繕、改修等は園のみで行うことができず、札幌市との協議が必要になります。特に大幅な修繕となりますとすぐに行うことができません。施設の老朽化なども、都度、札幌市とも協議を行い検討していく。 衛生面等では、日頃の清掃等で改善されることも多いと思いますので、改めて、清掃、消毒の仕方を見直し、園内でできること、外部発注でできることなどをしていきたいと思っております。においについては、施設特有のにおいがあるかもしれません。小さい子どももおりますので、芳香をすることはできませんので、消毒を行ったり、空気清浄を行い対応していく。 					

4 収支状況

▽ 収支 (千円)				A	B	C	D
項目	R2年度計画	R2年度決算	差(決算-計画)				
収入	112,730	110,317	▲ 2,413	令和元年度は定員割れ等の理由によりマイナス決算であったが、令和2年度は支出の減少等により黒字決算となった。全体としておおむね良好な運営ができています。			
指定管理業務収入	112,730	110,317	▲ 2,413				
指定管理費	86,992	85,502	▲ 1,490				
利用料金	2,652	1,675	▲ 977				
その他	23,086	23,140	54				
自主事業収入			0				
支出	102,608	106,719	4,111				
指定管理業務支出	102,608	106,719	4,111				
自主事業支出			0				
収入-支出	10,122	3,598	▲ 6,524				
利益還元			0				
法人税等			0				
純利益	10,122	3,598	▲ 6,524				
▽ 説明							
行事等での支出はなくなった。コロナ補助金での補助で設備を整えたが、園の負担も予定より多くなってしまった。							

<確認項目> ※評価項目ではありません。

▽ 安定経営能力の維持 備品購入の際、補助金の補助のほか、予定より、園負担の額が多くなってしまった。	より計画的な備品購入、補助金利用を行わなければならない。	適	不適
▽ 個人情報保護条例、情報公開条例、行政手続条例、オンブズマン条例及び暴力団の排除の推進に関する条例への対応 各条例の規定に則り、全て適切に対応した。	法令に則り対応できた。	適	不適

Ⅲ 総合評価

【指定管理者の自己評価】	
総合評価	来年度以降の重点取組事項
園児の入所人数は安定していたものの、コロナによる様々な支出が増えた。また、緊急な修繕も多かった。緊急を要するようになる前に、点検等を行い、保育に支障が出ないように点検を行う。	今後もしばらく同様のことが予想されるので、削減できる箇所、補わなければならない箇所を見極め、安全な運営を心掛ける。また、備品購入に際しても、子どもたちの安全に直結する緊急の場合や、必要最低限の場合など、しっかり見極め購入、対応したい。

【所管局の評価】	
総合評価	改善指導・指示事項
法令を遵守し、保育の質を保っていること、札幌市の施策に対して積極的に取り組み、様々な保育ニーズに対応していることが利用者の満足度にも表れているように見受けられる。 新しい生活様式が求められる中で、引き続き、感染症対策を徹底しながら、さらなる質の高い保育の実施に取り組んでいただきたい。	